

学校では教えてくれない、本にも書かれていない

「自分でチャンスをつくるために必要な3つのこと」

～元刑事・現経営コンサルタントの実践テクニック

講師 株式会社佑コンサルタンツアイ 代表取締役 野元 泰秀氏

※今回の講演内容のまとめをお伝えします。実際には気さくに話されていましたが、記事にする関係上、表現が堅苦しくなり、講演の臨場感をお伝えできない部分がございますが、ご了承ください。

自己紹介

高校卒業後警察学校へ。警察学校を卒業後、刑事の仕事にあこがれ、猛烈に働き当時最年少で刑事に。しかし、個人捜査から組織捜査の変化の中で、刑事として師匠と呼べる人から仕事を学び職人を目指していた自分にとって、役割と機能を明確に与えられる仕事を窮屈に感じるようになり、辞めることを決意。また刑事として色々な人の失敗を見ていくうちに、「お金」というものについてよく知らないと感じていくことができないうちに、刑事を辞め、会計事務所に。そこで、事務所内

で誰もが「難しい」と言って尻込みするコンサルティング業務にあえて挑み、翌年には事業部長に。後にコンサルタントとして独立。全ての行動の原動力は「面白そう」という好奇心。来年は、大学に行きもっと、学びたいと考えています。学ぶことで、生きる事はもっと面白くなります。こんな変わった、おじさんの話でも、今日は何かたべになることがあればと思い一生懸命話します。

社会の変化

社会はこれから急速に変化していきます。例えば、民法が改正されます。大きなポイントは成人年齢の引き下げ。20歳から18歳に引き下げられることで様々な業界に影響を及ぼすことになります。例えば、働き方が変わります。今まで就業時間が決まっていたのが、今後はフレックスタイム導入によって出社時間も退社時間も自由に決められる。朝のラッシュ時に通勤をしなくてすむかもしれない。また、副業もOKになってくる。今までは正社員はアルバイト禁止が基本でしたが、ルート製菓など、様々な会社がすでに副業を認めています。さらに、楽天、ユニクロ、アサヒビール等、英語を社内公用語とする会社が続々と現れています。世界を市場に戦うためにはそうする必要があり、今後この流れは滞ることはない。人材採用の仕方も、アップルやグーグルなど最先端の企業は、ネットでのゲームを利用して優秀な人材を早くから囲い込む戦略をとるなど、どんどん変化しています。

教育制度も変わります。2020年の大学入試改革ももちろんですが、その他、小学校でプログラミングが必修化されます。今の中学生の少し下の世代は、既にプログラムがある程度組めるようになって社会に出てくる。社会人になれば、世代や年齢などは関係なくなるので、そういう下の世代とも競争をしなければなりません。こんなふうに、時代は猛スピードで変化と進化を遂げている。これらの変化を予め少しでも知っておくことは必要です。ただし、インターネットを利用して調べることが多いと思いますが、**書かれていることを絶対に鵜呑みにしないこと**。なぜなら正しい情報を書いてあるとは限らないからです。また**親や大人の言うことも信じではダメ**です。親や大人が立派とは限らない。もしみんなが立派だったらこんな世の中になっていない。だから**僕が今話していることも鵜呑みにしてはいけない**。とにかく自分で**徹底的に調べ考えること**、それが大事です。

大失敗から学んだこと

次に、あまり話したくないのですが、自分の失敗の話を書きます。11年前、海外の飲食店のプロデューサーを任されたときに、結果として大損失を出してしまい、会社の貯金が空っぽになってしまったことがありました。なぜ失敗したか。それはお金に目がくらんでしまい、準備を怠ったから。準備とは、その国の法律や契約について徹底的に学んだり、危機管理について最低限必要なことを学んだりすること。「明日の教科書の準備をしてから寝なさい」とは、小学校1年生で言われることです。そんな小1レベルのことを忘れていたがために失敗したわけです。

知らないことを知るためのフレームワーク
失敗しないためにはまず徹底して「知らなければいけないことを知る」。そのフレームワークとして、0～8まで項目を挙げますが、特に大事なのは、初めの3項目です。

- 0. 今の自分の状況を判断する
- 1. 何をどのレベルで知るか決める。
- 2. 全体像を知る

学校のテストを例にとると、まず自分の各教科の理解度がどの程度か判断し(0. 今の自分の状況を判断する)、合格するには何点取ればいいのかを考え(2. 全体像を知る)、そのためには「何点捨てていいか」決める(1. 何をどのレベルで知るか決める)。

あれもこれもやらない。難しすぎる問題は思い切って捨ててしまい、絶対に理解すべきことに集中すること。そうやって「要領よく」勉強した方が楽にできます。なお、こういうやり方は大人になって非常に役に立つので、子供の時から知り、使える方がよいでしょう。

時代は、変わる。求められる能力も変わる

時代は勝手に変わっていきます。それに応じて社会で生き抜くために必要な能力も変わっていきます。

(1) 悪いヤツほど考える能力が高い!?

例えば振り込め詐欺も、時代が高齢化社会へと変化し、お年寄りの貯蓄額が多いことから始まった詐欺。しかしこれは、思いついてすぐできることではなく、全体の仕組みを知識と技術を駆使して考え尽くして作り上げる人間がいる。電話についての技術的知識、心理学や行動科学など、様々なことを組み合わせて考え抜かれている、だから騙されてしまうのです。

単に知識を得るだけでなく、どう組み合わせるか【知恵】としていくか。君達中学生が5科目勉強しなければならない理由もそこにあります。知識が偏ったままでは社会に出た時に結局役に立たないのです。

(2) 嫌でも知っておくべき世の中の構造と偏差値の関係

学校では教えてくれませんが、子供の時からきちんと「お金」について知るべきです。世の中は現実として階層に分かれている。一番上の階層は年収2000万以上の人たちで、この額を給料としてもらっているのは全体の0.4%に過ぎない。具体的な職種としては、優秀な医師や弁護士など。いわゆる「偏差値」が高い人たちです。中小企業の社長さんでも平均年収が500万。このように「お金」と「偏差値」は実は密接な関係にあります。でも、努力をすれば全然違った環境になれることもお伝えしておきます。現実に

様々な職種で、学歴など関係なく成功されている方は大勢いらっしゃいます。大河ドラマ「真田丸」の題字を手がけられた左官の挾土秀平(はさどしゅうへい)氏などはよい例でしょう。ただ、いずれの成功者にしても、どこかで必ず猛然と努力する時期があり、それが若い頃なのか、大人になってからのかの違いでしかありません。僕自身も会計事務所時代に他の先輩達に頭を下げてテキストを借り、深夜まで猛勉強しました。

(3) 基本の重要さ

求められる能力は時代によって変わっていきます。しかし、そんな中でも変わらない基本として挙げられるのが、「**驕**」。具体的には次の3つです。

そう、結局のところ、社会に出て必要なことは小1レベルで学ぶ当たり前のこと。しかし、実はこれができないからうまくいかないことが多いのです。

約束を守る ルールを守る 人と仲良くする

これから求められる能力とは

今まではたくさんの知識を知り、それらを的確に処理できる能力や、クレームなど様々な問題に対応する能力が必要で、それができる人が出世していました。しかし今後は、様々なアイデアから企画を提案する力や、問題を発見し、解決する能力

が必要になっていく。情報処理等の単純作業はコンピューターやロボット、人工知能に任せられるので、**思考力と創造力を持つ人間がより必要とされる**社会になっていくことでしょう。

チャンスをつくるために必要不可欠な条件—プランA

まず夢や目的はあったほうがいい。「○○になりたい」ということを漠然とでもイメージすること。それがいいなら、逆に「きらいなこと」「いやなこと」を書き出し、そうならない為にはどうしたらよいかをイメージしてもよい。とにかくなるべく具体的に詳しくイメージすることが大事です。

では、チャンスを作り出すためにはどうしたらよいか。

①ポジショニング

自分にとって競争優位性がどこになるか。運動なのか、勉強なのか、運動ならどこなのか。自分の得意分野を意識的に作ることが大切です。サッカーの中のリフティングという分野だけを究め、結果世界チャンピオンまで上り詰めたフリースタイルフットボールの徳田耕太郎さん

という方がいらっしゃいます。このように自分にしかできない、自分が一番になれる分野を突き詰めていくことで大きなチャンスを得ることができます。

②勉強と学習の区分

勉強は「強く勉める」もの。つまり、やらされるものであり、無理にでも飲み込まないといけないものです。それをして初めて「学習」=自分が好きな分野に好きなだけ打ち込んだらいい。漫画「ワンピース」の作者尾田栄一郎氏も、大学こそ中退していますがきちんとした私立大学に合格していますし、高校も進学校だったそうです。やるべき勉強はきちんとし、その上で「漫画家になりたい!」という夢を実現させたわ

けです。最低限の勉強をしなければ、先に進むことはできません。ただ、やらされる勉強ばかりでは精神的に疲れてしまうし、疲れてしまうと周りが何と言おうが勉強しなくなってしまいます。ですから、勉強の合間に好きな「学習」に打ち込む時間も少し入れてバランスをとるといいでしょう。

③スケジュール

1年は365日しかなく、52週間しかないので、勉強や学習に使える時間はほぼ決まっています。やりたいことはたくさんあるのでどうしたらいいか。「上手に」スケジュールリングするしかない。ここで大事

になるのが、きちんとコンディションを整えるということです。頭と体、両方をきちんとトレーニングして整えておくこと。僕もいつもストレッチや筋トレをして体の調子を整えています。

チャンスは自分で作り出そう—プランB

なかなか上手くいかないときは、次のことを試してみてください。

(1) 場所を変える

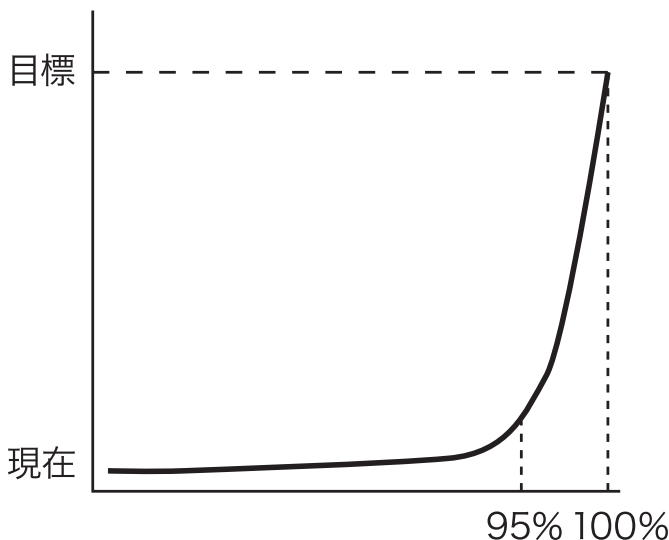
大阪でダメなら東京で、国内でダメなら海外へ。そうして場所や環境を変えることで成功した人も大勢います。

(2) 行動を変える

同じ行動を速くする。速くやることで他のことをやる時間が増える。テストにも制限時間があるでしょう。時間内に早く終わらせるトレーニングなのです。世の中では、同じ結果を出せるなら、早くできる人の方が評価されます。

(3) 勉強と学習

「分かること」と「できること」を増やすことです。それには勉強していくしかない。そこで知っておくべきなのは、人は段階的には成長せず、急成長するものなのだという。目標到達まであと5%くらいまではなかなか成果が出ない。それまで我慢できれば勝ちです。



最後に

世の中は知らないことだらけ。お楽しみはこれから。21世紀生まれの君たちが、協力して何かを成し遂げる力はすごい。これは進化だと思おう。何からでも学ぶ努力と工夫をしよう。漫画、映画、小説、TV (国内、海外)、インターネットetc、どんなものからでも学ぶことができる。

私達、大人も頑張ります。

Have Fun!

Trust me.

Never ever give up.

Go ahead!

「楽しみながら」

「自分を信じて。」

「絶対に諦めないで。」

「さあ、先に進め!」

若い皆さんは、そうやって頑張ってください。